

看護学科のカリキュラムの変遷

－ 本学開学の1980年から2015年現在までの36年間の推移－

古城 幸子*

新見公立大学看護学部

(2015年11月18日受理)

新見公立大学は、1980年の新見女子短期大学看護学科の開学から、30期生を最後に閉校、四年制大学看護学部に移行した。その間、短期大学では開学時から4回のカリキュラムの改正を行った。そのうち3回は医療環境の変化に伴う指定規則の変更に伴う改正で、1回は、学生の理解を容易にするための科目内容を変更したものである。大学では開学時から2回の改正を行った。そのうち1回は指定規則の保健師・助産師の教育期間の変更に伴う改正で、1回は大学院開設に伴って、学部と大学院科目の名称の混同を避けるために整理した改正である。そのカリキュラムの推移を資料として残し、その時々での改正の意図を説明した。

(キーワード) 看護基礎教育、本学カリキュラムの変遷

はじめに

新見女子短期大学開学時から大学への改組を含めて、36年が経過した。看護学科の教育目的は「豊かな教養と高い倫理性を養い、多面的な人間理解と専門的な基礎知識・技術を身に付け、科学的思考に基づく判断力や創造力のある看護専門職として、国際的な視野を備えた、地域および社会に有為な人材を育成する」とし、短期大学開学の時から、大きく変わっていない。その目的に向かって構成したカリキュラムの中で、教育内容・方法を工夫しながら教育指導に当たってきた。

2013年度で大学が、2015年度で大学院の完成年度を迎えた。この時期に36年間のカリキュラムの変遷を記録に残し、今後大学が発展していくための礎となることを期待したい。

カリキュラムの変遷

1980年の短期大学看護学科の開学から30期生を最後に2012年に閉校、2010年より四年制大学看護学部に移行した。その間、短期大学では開学時から4回のカリキュラムの改正を行い、大学では開学時から2回の改正を実施した。

1. 短期大学看護学科のカリキュラム

1) 1980年開学当時のカリキュラム (資料1)

1980年に新見女子短期大学が開学した。当初の看

資料1 1980年 開学当初のカリキュラム

1.一般教育科目・外国語科目・保健体育科目				2.専門教育科目			
授業科目	看護学科単位数			授業科目	看護学科単位数		
	必修	選択	卒業要件		必修	選択	卒業要件
一般教育科目	人文	学	2	専門教育科目	解剖学	学	2
	文	学	2		生理学	学	2
	分	学	2		生化学	学	2
	野	学	2		栄養学	学	1
	法	学	2		発達心理学	学	2
	社会	学	2		精神衛生	学	1
	分	学	2		保健学総論	学	2
	野	学	2		医学概論	学	1
	教	学	2		薬理学	学	1
	育	学	2		病理学	学	2
計	学	2	微生物学	学	2		
計	学	6	成人医学Ⅰ	学	3		
		16		成人医学Ⅱ	学	3	
		14		成人医学Ⅲ	学	1	
英語Ⅰ	学	2	小児医学	学	2		
英語Ⅱ	学	2	産婦人科学	学	2		
英語Ⅲ(医用外国語)	学	2	精神医学	学	1		
計	学	4	臨床心理学	学	2		
		2	リハビリテーション医学	学	1		
保健体育	学	1	放射線医学	学	1		
保健体育実技	学	2	社会福祉論	学	1		
計	学	3	保健医療行政論	学	1		
		3	保健医療統計学	学	2		
		3	看護概論	学	2		
		3	看護技術	学	5		
		3	看護基礎実習	学	2		
		3	総合実習	学	2		
		3	成人看護概論	学	1		
		3	成人看護総論	学	2		
		3	成人看護Ⅰ	学	2		
		3	成人看護Ⅰ実習(1)	学	5		
		3	成人看護Ⅰ実習(2)	学	2		
		3	成人看護Ⅱ	学	2		
		3	成人看護Ⅱ実習(1)	学	6		
		3	成人看護Ⅱ実習(2)	学	2		
		3	成人看護Ⅲ	学	1		
		3	成人看護Ⅲ実習	学	2		
		3	小児看護概論	学	1		
		3	小児看護	学	2		
		3	小児看護実習(1)	学	3		
		3	小児看護実習(2)	学	2		
		3	母性看護概論	学	1		
		3	母性看護	学	2		
		3	母性看護実習(1)	学	3		
		3	母性看護実習(2)	学	2		
		3	精神科看護	学	1		
		3	精神科看護実習(1)	学	2		
		3	精神科看護実習(2)	学	2		
		3	地域看護	学	1		
		3	地域看護実習(1)	学	2		
		3	地域看護実習(2)	学	2		
		3	計	学	68		
		3		学	32		
		3		学	84		

*連絡先：古城幸子 新見公立大学看護学部 718-8585 新見市西方1263-2

護学科のカリキュラムを資料1に示す。当時のカリキュラムは、1967年に改正された保健師助産師看護師学校養成所指定規則に準拠した。1967年の改正では、人間の成長発達の違いによる領域として、「看護学総論」「成人看護学」「小児看護学」「母性看護学」と設定され、いわゆる疾患の看護からの看護学の主体性を志向している。従来の技能の習熟重視ではなく、人間形成と専門的理解と応用能力を養うことを標榜されたものである¹⁾。

本学のカリキュラムは、短大設置準備室から関わられた初代学科長の丸川和子氏の構想を基に作成された。指定規則の4領域以外に「精神看護学」「地域看護学」の2つの領域を設定し、新見の地域性を考慮した編成が行われた。

この時期は、全国で大学が6校、短期大学が35校であった。

2) 1989年指定規則の改正カリキュラム (資料2)

この改正においては、国の動向においても、高齢者保健福祉10ヵ年戦略(ゴールドプラン)が策定されるなど社会的な背景を基に、「老人看護学」が新たに柱立てされたことが特徴である。また、学科目の構成が「基礎科目」「専門基礎科目」「専門科目」に構成され、専門科目の中は、すべて看護学で統一された。

本学開学当時は、専門教育科目の中で、医学に関する科目も看護学と並列して編成していたが、医学系の科目は「専門基礎科目」とし、専門科目を「専門科目(講義)」「専門科目(実習)」とした。さらに、老人看護学を立ち上げ、従来の精神看護学、地域看護学も含め、7領域の編成とした。

この時期は全国で大学が9校、短期大学が増加しており54校であった。

3) 1996年指定規則の改正カリキュラム³⁾ (資料3)

この改正での大きな特徴は、医療費の高騰による在宅ケアの重要性という社会的な要請を受けて、「在宅看護論」「精神看護学」が柱立てされたことである。また、「基礎科目」を「基礎分野」と分野で示されることになった。特に、単位制の導入による大学教育との単位互換や、各養成校のオリジナリティの尊重と看護教育の個性化が求められた²⁾。そのため、指定規則の別表はシンプルな表現にとどまり、個々の養成機関の独自性が問われた。

本学は、開学時から「地域看護学」「精神看護学」を柱立てしており、大幅な修正の必要は無かった。指定規則の「在宅看護論」は、本学開学時の「地域看護学」という科目名のままで位置づけることとし

資料2 1990年～1996年

1基礎科目・外国語科目・保健体育科目				2専門教育科目			
授業科目	看護学科単位数			授業科目	看護学科単位数		
	必修	選択	卒業要件		必修	選択	卒業要件
哲 学		2	12	医学概論Ⅰ	1		23
文 学		2		医学概論Ⅱ	1		
音 楽		2		解剖生理学	4		
美 術		2		生 化 学	1		
舞 踊				栄 養 学	1		
社 会 学		2		薬 理 学	2		
人 間 論				病 理 学Ⅰ	1		
心 理 学		2		病 理 学Ⅱ	2		
教 育 学		2		微 生 物 学	2		
教 育 哲 学				保 健 学 総 論Ⅰ	1		
法 学		2		保 健 学 総 論Ⅱ	1		
日 本 国 憲 法				保 健 医 療 統 計 学	1		
文 化 人 類 学		2	社 会 福 祉	1			
物 理 学		2	保 健 医 療 行 政 論	1			
化 学		2	精 神 保 健	2			
生 活 科 学			臨 床 心 理 学 特 論	1			
生 物 学		2	生 活 科 学		2		
天 文 地 球 科 学			人 間 工 学		2		
生 命 科 学			計	23	4		
情 報 科 学		2					
情 報 処 理			護 理 学 概 論	2			
計		26	基 礎 護 理 技 術	5			
		12	臨 床 護 理 総 論	3			
外 国 語 科 目			成 人 護 理 概 論	1			
英 語Ⅰ	1		成 人 保 健	1			
英 語Ⅱ			成 人 臨 床 護 理	7			
英 語Ⅲ(医 用 英 語)	1		老 人 護 理 概 論	1			
英 語Ⅳ(英 会 話)	2		老 人 保 健	1			
計	4	4	老 人 臨 床 護 理	2			
保 健 体 育 講 義	1		小 児 護 理 概 論	1			
保 健 体 育 実 技	2	3	小 児 保 健	1			
計	3	3	小 児 臨 床 護 理	2			
			母 性 護 理 概 論	1			
			母 性 保 健	1			
			母 性 臨 床 護 理	2			
			精 神 科 護 理	2			
			地 域 護 理 学	1			
			護 理 研 究	2			
			計	36	36		
			臨 床 実 習				
			基 礎 実 習Ⅰ	1			
			基 礎 実 習Ⅱ	2			
			成 人 護 理	8			
			老 人 護 理	2			
			小 児 護 理	3			
			母 性 護 理	3			
			精 神 科 護 理	2			
			地 域 護 理	2			
			総 合 実 習	2			
			計	25	25		

資料3 1997年～2006年

授業科目	単位数		卒業要件	授業科目	単位数		卒業要件
	必修	選択			必修	選択	
哲 学		2	必修科目 9単位	医 学 概 論	2		必修科目 21単位
文 学		2		解 剖 学	2		
音 楽		2		生 理 学	2		
美 術		2		生 化 学	2		
法 学		2		生 理 学	2		
社 会 学		2		薬 理 学	2		
心 理 学		2		病 理 学	2		
教 育 学		2		微 生 物 学	2		
文 化 人 類 学		2		保 健 学 総 論	1		
化 学		2		保 健 学 総 論Ⅱ	1		
数 学		2		医 療 統 計 学	1		
情 報 処 理		2		社 会 福 祉	1		
生 物 学		2	保 健 医 療 福 祉 法 制	1			
外 国 語			臨 床 心 理 特 論	1			
英 語Ⅰ	2		護 理 学 概 論Ⅰ	2			
英 語Ⅱ	2		護 理 学 概 論Ⅱ	1			
英 語Ⅲ(医 用 英 語)	2		護 理 学 概 論Ⅲ	1			
英 語Ⅳ(英 会 話)	2		護 助 技 術 論Ⅰ	1			
保 健 体 育 講 義	1		護 助 技 術 論Ⅱ	3			
保 健 体 育 実 技	2		護 助 技 術 論Ⅲ	2			
計	11	11	臨 床 護 理 総 論Ⅰ	1			
			臨 床 護 理 総 論Ⅱ	1			
			成 人 護 理 学Ⅰ	1			
			成 人 護 理 学Ⅱ	5			
			地 域 護 理 学Ⅰ	1			
			地 域 護 理 学Ⅱ	3			
			老 年 護 理 学Ⅰ	1			
			老 年 護 理 学Ⅱ	3			
			小 児 護 理 学Ⅰ	1			
			小 児 護 理 学Ⅱ	3			
			母 性 護 理 学Ⅰ	1			
			母 性 護 理 学Ⅱ	3			
			精 神 科 護 理 学Ⅰ	2			
			精 神 科 護 理 学Ⅱ	2			
			護 理 研 究	2			
			基 礎 護 理 学 実 習Ⅰ	1			
			基 礎 護 理 学 実 習Ⅱ	2			
			成 人 護 理 実 習	8			
			地 域 護 理 学 実 習	2			
			老 年 護 理 学 実 習	4			
			小 児 護 理 学 実 習	2			
			母 性 護 理 学 実 習	2			
			精 神 科 護 理 学 実 習	2			
			計	39	39		
			臨 床 実 習				
			基 礎 護 理 学 実 習Ⅰ	1			
			基 礎 護 理 学 実 習Ⅱ	2			
			成 人 護 理 実 習	8			
			地 域 護 理 学 実 習	2			
			老 年 護 理 学 実 習	4			
			小 児 護 理 学 実 習	2			
			母 性 護 理 学 実 習	2			
			精 神 科 護 理 学 実 習	2			
			計	23	23		

看護学科のカリキュラムの変遷

た。分野表示は改定に合わせて、各領域の科目を概論・保健・臨床看護と分けていたものを、たとえば成人看護学Ⅰに概論と保健を含め、成人看護学Ⅱを臨床看護の内容とした。基礎看護学では、基礎看護技術を援助技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲと分けて単位数を増やした。

この時期は全国で大学が44校と増加傾向にあり、短期大学は71校でピークを迎えた。

4) 短期大学独自のカリキュラムの修正 (資料4)

2007年度・2008年度については、以前から課題となっていた点のマイナーチェンジの改正である。特に、成人看護学の中で単位化していた疾病の検査・診断・治療に関する授業内容を、病態治療学として「専門基礎分野」に移動させた。成人看護学の内容においても、A～Dと系統別に分けることにより学生の理解を容易にする工夫を行った。

5) 2008年指定規則の改正カリキュラム (資料5)

この改正では、分野が、「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」の3分野のうち、「専門分野」が、ⅠとⅡ、および「統合分野」に分類されたことであ

資料4 2007・2008年度

分野	授業科目	単位数		卒業要件 単位数	
		必修	選択		
基礎分野	哲学	2		10単位以上	
	文学	2			
	音楽	2			
	美術	2			
	法学	2			
	社会学	2			
	心理学	2			
	教育学	2			
	文化人類学	2			
	自然科学Ⅰ	2			
	自然科学Ⅱ	2			
	外国語	2			4
	英会話	2			
英語Ⅱ	2				
保健	生涯スポーツ論	1		3	
	スポーツ実習A	1.3			
	スポーツ実習B	0.7			
計	9	22	17		
専門基礎分野	医学概論	1		18	
	解剖学	2			
	生理学	2			
	生化学	1			
	薬理学	2			
	臨床薬理学A	1			
	病理学B	1			
	微生物学	2			
	保健学総論	1			
	医療統計学	1			
	医療情報A	1			
	医療情報B	0.5			
	医療情報C	0.5			
	社会福祉	1			
	保健医療福祉法	1			
	臨床心理特論	1			
	病態治療学A	1			
	病態治療学B	1			
	病態治療学C	1			
	病態治療学D	1			
	病態治療学E	1			
	臨床栄養学	1			
	計	23	2		24

分野	授業科目	単位数		卒業要件 単位数
		必修	選択	
専門分野	看護学概論Ⅰ	2		12
	看護学概論Ⅱ	1		
	援助技術論A	2		
	援助技術論B	2		
	援助技術論C	2		
	援助技術論D	2		
	臨床看護総論Ⅰ	1		
	成人看護学概論	1		
	成人看護学A	1		
	成人看護学B	1		
	成人看護学C	1		
	成人看護学D	1		
成人看護学E	0.5		6	
成人看護学演習	0.5			
地域看護	地域看護学Ⅰ	2		4
	地域看護学Ⅱ	2		
	老年看護学Ⅰ	2		
	老年看護学Ⅱ	1		
小児看護	小児看護学Ⅰ	2		4
	小児看護学Ⅱ	2		
	小児看護学Ⅲ	1		
	母性看護学Ⅰ	2		
精神看護	母性看護学Ⅱ	2		4
	精神看護学Ⅰ	2		
	精神看護学Ⅱ	2		
	看護研究	2		
計	40		40	
臨床実習	基礎看護学実習Ⅰ	1		3
	基礎看護学実習Ⅱ	2		
	成人看護学実習A	4		8
	成人看護学実習B	4		
	地域看護学実習	2		4
	老年看護学実習Ⅰ	1		
	老年看護学実習Ⅱ	3		
	小児看護学実習	2		2
	母性看護学実習	2		
	精神看護学実習	2		2
計	23		23	

資料5 2009年

分野	授業科目	単位数		卒業要件 単位数		
		必修	選択			
基礎分野	哲学	2		6単位以上		
	文学	2				
	音楽	2				
	美術	2				
	法学	2				
	社会学	2				
	心理学	2				
	教育学	2				
	自然科学Ⅰ	2				
	自然科学Ⅱ	2				
	外国語	2			4	
	英会話	2				
	英語Ⅱ	2				
保健	生涯スポーツ論	1		2		
	スポーツ実習A	1				
	スポーツ実習B	1				
計	8	21	14			
専門基礎分野	医学概論	1		23		
	解剖学	2				
	生理学	2				
	生化学	1				
	薬理学	2				
	臨床薬理学	1				
	病理学A	1				
	病理学B	1				
	微生物学	2				
	保健学総論	1				
	医療統計学	1				
	医療情報A(基礎編)	1				
	医療情報B	1				
	医療情報C(応用編)	1				
	社会福祉	1				
	保健医療福祉法	1				
	人間関係論	1				
	病態治療学A	1				
	病態治療学B	1				
	病態治療学C	1				
	病態治療学D	1				
	病態治療学E	1				
	臨床栄養学	1				
計	23	3	23			
専門分野Ⅰ	看護学概論	1		10		
	援助技術論A(日常生活援助技術)	2				
	援助技術論B(看護過程)	2				
	援助技術論C(診療補助援助技術)	2				
	援助技術論D(治療援助技術)	2				
	臨床看護総論	1				
	計	10	0		10	
	専門分野Ⅱ	成人看護学概論	1			23
		成人看護学A	1			
		成人看護学B	1			
成人看護学C		1				
成人看護学D		1				
成人看護学E		1				
成人看護学演習		1				
老年看護学Ⅰ(概論)		2				
老年看護学Ⅱ(健康論)		1				
老年看護学Ⅲ(看護援助論)		1				
小児看護学Ⅰ(概論)		1				
小児看護学Ⅱ(疾患)		2				
小児看護学Ⅲ(看護援助論)		1				
母性看護学Ⅰ(概論)		2				
母性看護学Ⅱ(看護援助論)		2				
精神看護学Ⅰ(概論)		1				
精神看護学Ⅱ(疾患)	1					
精神看護学Ⅲ(看護援助論)	2					
計	23	0	23			
統合分野	看護研究Ⅰ(基礎編)	1		10		
	看護研究Ⅱ(実践編)	1				
	地域看護学Ⅰ(概論)	2				
	地域看護学Ⅱ	2				
	統合と実践A(看護管理)	1				
	統合と実践B(医療安全)	1				
	統合と実践C(災害看護)	1				
	統合と実践演習	1				
計	10	0	10			
専門分野Ⅰ	基礎看護学実習Ⅰ	1		3		
	基礎看護学実習Ⅱ	2				
	計	3	0		3	
専門分野Ⅱ	成人看護学実習A	3		16		
	成人看護学実習B	3				
	老年看護学実習Ⅰ	1				
	老年看護学実習Ⅱ	3				
	小児看護学実習	2				
	母性看護学実習	2				
	精神看護学実習	2				
計	16	0	16			
統合分野	地域看護学実習	2		4		
	統合実習(複数実習)	1				
	統合実習B	1				
計	4	0	4			

る。「統合分野」では、チーム医療、看護管理、医療安全などの科目配置が求められ、看護実践力を強化することがねらいとしてあげられた。

本学では、「統合分野」として、看護研究、地域看護学、看護管理、医療安全、災害看護を講義科目とし、統合実習は、複数受け持ちと看護管理を組み込んだ。

この時期は、全国で大学168校と急激に増加しており、一方短期大学は31校と減少に拍車がかかった時期である。

2. 新見公立大学看護学部看護学科のカリキュラム

1) 2010年開学時のカリキュラム^{4) 5)} (資料6)

新見公立短期大学から2010年に新見公立大学へと四年制大学に移行した。4年間で131単位を卒業要件とし、保健師と看護師の資格取得のできるカリキュラムとした。文科省との相談を重ねて、指定規則を遵守しながら、大学独自の教育課程になるように工夫した。基礎分野では、初年次教育として「基礎ゼミナール」を取り入れた。また、「国語表現法」「英語論文講読入門」など、人間と言語に

関する科目を設定した。

科目の表記の仕方を解剖学から「人体構造学」、生理学から「人体機能学」、生化学から「生命活動と代謝」などと名称を変更した。

保健師養成に応える科目は、短期大学の地域看護学専攻科で設定していた講義内容を踏襲した。本学独自の科目設定では、短期大学時代にも行っていた課外活動を「国際交流活動」「地域ボランティア活動」として選択科目とし、単位化したことである。また、老年看護学実習、在宅看護論実習で取り入れていたサテライト・デイを「生活支援看護学実習」として科目立てし、老年・在宅の教員が共同で指導担当することにした。

この時期の全国の状況は、大学193校、短期大学30校となった。

2) 2011年指定規則改正カリキュラム⁶⁾ (資料7)

この改正で、保健師・助産師養成期間が6ヵ月以上であったものが、それぞれ1年の教育期間が必要であると

資料6 大学設置2010年～2011年

授業科目	単位数		卒業要件 単位数	授業科目	単位数		卒業要件 単位数	
	必修	選択			必修	選択		
基礎分野	基礎ゼミナール	1	必修科目 13単位 選択科目 7単位以上	基礎看護学概論	2	必修科目 77単位 + 選択科目 3単位以上	基礎看護学概論	2
	人間と文化	2		健康生活援助技術論	2			
	人間と社会	2		健康生活援助技術論	2			
	人間と社会	2		健康看護援助技術論	2			
	人間と社会	2		看護過程論	2			
	人間と社会	2		基礎看護学実習Ⅰ	1			
	人間と社会	2		基礎看護学実習Ⅱ	2			
	人間と社会	2		成人看護学概論	1			
	人間と社会	2		成人看護学援助論A (急性期)	2			
	人間と社会	2		成人看護学援助論B (慢性期・終末期)	2			
	人間と社会	2		成人看護学援助論C (リハビリテーション期・回復期)	1			
	人間と社会	2		成人看護学実習A (急性期)	4			
	人間と社会	2		成人看護学実習B (慢性期)	4			
	人間と社会	2		老年看護学概論	2			
	人間と社会	2		老年看護学援助論	2			
	人間と社会	2		老年看護学実習	2			
	人間と社会	2		生活支援看護学実習 (コミュニティ)	2			
	人間と社会	2		在宅看護論	1			
	人間と社会	2		在宅看護学援助論	1			
	人間と社会	2		在宅看護学実習	2			
人間と社会	2	精神看護学概論	1					
人間と社会	2	精神看護学援助論	2					
人間と社会	2	精神看護学実習	2					
人間と社会	2	母子看護学概論A(母性)	2					
人間と社会	2	母子看護学概論B(小児)	2					
人間と社会	2	母性看護学援助論	2					
人間と社会	2	小児看護学援助論	2					
人間と社会	2	母子看護学実習A(母性)	2					
人間と社会	2	母子看護学実習B(小児)	2					
人間と社会	2	公衆衛生看護学概論Ⅰ (総論)	1					
人間と社会	2	公衆衛生看護学概論Ⅱ (各論)	2					
人間と社会	2	地域ケアシステム論	1					
人間と社会	2	地域看護学活動実習	1					
人間と社会	2	保健計画論	1					
人間と社会	2	健康教育論	1					
人間と社会	2	地域保健指導論	2					
人間と社会	2	地域保健指導特論	1					
人間と社会	2	産業保健	1					
人間と社会	2	学域保健	1					
人間と社会	2	地域看護学実習	4					
人間と社会	2	家庭訪問実習	1					
人間と社会	2	看護管理	1					
人間と社会	2	医療安全	1					
人間と社会	2	救命救急医療特論	1					
人間と社会	2	健康危機管理特論	1					
人間と社会	2	地域医療特論	1					
人間と社会	2	看護生涯教育特論	1					
人間と社会	2	臨床コミュニケーション特論	1					
人間と社会	2	卒業研究Ⅰ(基礎編)	1					
人間と社会	2	卒業研究Ⅱ(実践編)	3					
人間と社会	2	合計	77	7	80			
人間と社会	2	合計	119	40	131			

看護学科のカリキュラムの変遷

の変更に伴って、3つの資格取得は4年間では不可能になった。3つの資格取得を4年間で設定していた大学は、看護師と保健師または助産師のいずれかを選択する必要に迫られた。その改正に関連して、保健師養成のための実習施設が不足し、県としても実習対応が困難という課題が投げかけられ、岡山県では、各大学ともに保健師選択コースの人数が定員の1～2割程度に制限されることに決まった。

本大学では、保健師選択コースを専攻科のときと同じ16人以内とした。保健師コースの充実のために、卒業要件単位を139単位とした。一方で看護師のみの履修者には、「臨床コミュニケーション特論」「看護生涯教育特論」などの選択科目を用意した。

この時期は、全国で大学210校、短期大学27校であった。

3) 大学独自のカリキュラムの修正⁷⁾(資料8)

完成年度を迎え、カリキュラムに関する再検討を行った。大幅な変更は必要無いものの、2014年に開学した大

学院看護学研究科の科目名と混同するものがあり、マイナーチェンジの修正である。たとえば、学部の「看護生涯教育特論」と大学院の「看護教育特論」などの科目表記の混同である。そのため、学部の科目名で「特論」のついた科目はすべて「論」に統一し、「特論」は大学院の科目名にのみ使用することとした。

また、学生の科学的な見方を広げるために、選択科目であった「自然科学Ⅱ」を必修とした。

この時期は、全国で大学235校、短期大学25校となった。

おわりに

36年間のカリキュラムの変遷をたどると、その時代の社会の要請が看護基礎教育に大きな影響を与えていることが見えてきた。一方で、看護基礎教育の4大化が加速し、全国的に看護大学開設の動きは衰えていない。そのことは、全国看護系大学協議会や看護系の各学会からの看護基礎教育への評価や検証が行われていくことを示してい

資料7 2012～2014

授業科目	単位数		看護師 卒業要件 単位数	保健師 卒業要件 単位数
	必修	選択		
基礎ゼミナール	1			
人間と文化		2		
日本語		2		
文芸		2		
音楽		2		
美術		2		
日本国憲法	2			
社会学	2			
心理学概論	2			
教育	2			
自然科学Ⅰ	2		必修科目 12単位	必修科目 12単位
自然科学Ⅱ	2		必修科目 12単位	必修科目 12単位
生涯科学	2		選択科目 8単位以上	選択科目 8単位以上
情報処理	1			
英語表現法	2			
英語Ⅰ	1			
英語Ⅱ	1			
英会話Ⅰ	1			
英会話Ⅱ	1			
英語論文講義入門	1			
国際交流活動	1			
実践的生涯スポーツ	1			
スポーツ実習A	1			
スポーツ実習B	1			
合計	12	23	20	
健康概論	1			
生命概論	2			
保健医療統計学Ⅰ(基礎)	1			
保健医療統計学Ⅱ(応用)	1			
社会福祉	1			
保健医療福祉法	1			
保健医療福祉行政論	2			
人間関係論	1			
カウンセリング	1			
臨床保健論	1			
ボランティア論	1			
地域ボランティア活動	1			
人体構造学	2			
人体機能学	2			
生命運動と代謝	1			
微生物学	2		必修科目 31単位	必修科目 31単位
基礎病理学Ⅰ(総論)	1		必修科目 31単位	必修科目 31単位
基礎病理学Ⅱ(各論)	1		選択必修科目 1単位	選択必修科目 1単位
薬と健康	1		選択必修科目 1単位	選択必修科目 1単位
医療倫理	1		選択必修科目 1単位	選択必修科目 1単位
病態治療学A(外科各論・消化器)	1		保健師教育 課程選択者 必修科目 1単位以上	保健師教育 課程選択者 必修科目 1単位以上
病態治療学B(脳・神経・運動器・放射線医学)	1			
病態治療学C(呼吸器・血液・循環器)	1			
病態治療学D(腎・泌尿器・内分泌・代謝)	1			
女性の健康と疾患	1			
小児の健康と疾患	1			
心の健康と疾患	1			
薬と疾患	1			
臨床栄養学	1			
疫学	2			
疫学調査・疫学実習	①1			
地域リハビリテーション論	1			
運動指導論	1			
合計	31	8	33	33

授業科目	単位数		看護師 卒業要件 単位数	保健師 卒業要件 単位数
	必修	選択		
基礎看護学概論	2			
健康生体援助技術論	2			
産業生体援助技術論	2			
健康看護援助技術論	2			
看護過程論	2			
基礎看護学実習Ⅰ	1			
基礎看護学実習Ⅱ	2			
成人看護学概論	2			
成人看護学援助論A(急性期)	2			
成人看護学援助論B(慢性期・終末期)	2			
拡大看護学援助論C(リハビリテーション期・回復期)	1			
成人看護学実習A(急性期)	4			
成人看護学実習B(慢性期)	4			
老年看護学概論	2			
老年看護学援助論	2			
老年看護学実習	2			
生活支援看護学実習(コミュニケーション)	2			
在宅看護論	2			
在宅看護援助論	2			
在宅看護実習	2			
精神看護学概論	2			
精神看護学援助論	2			
精神看護学実習	2			
急性看護学概論	2			
急性看護学援助論	2			
小児看護学概論	2			
小児看護学援助論	2			
小児看護学実習	2			
看護管理	2			
医療安全	1			
救命救急医療特論	2			
健康危機管理特論	1			
地域医療特論	1			
看護生涯教育特論	1			
臨床コミュニケーション特論	1			
臨床看護論	1			
臨床援助技術講義	1			
インターンシップ実習	1			
卒業研究Ⅰ(基礎編)	1			
卒業研究Ⅱ(実践編)	3			
公衆衛生看護学概論	*2			
公衆衛生看護学管理論	①1			
地域ケアシステム論	①1			
公衆衛生看護学活動実習	①1			
健康教育論	①1			
地域保健指導論	①2			
地域保健指導特論	①1			
実業保健	①1			
学校保健	①1			
公衆衛生看護学実習	①4			
家庭訪問実習	①1			
合計	69	23	72	86
合計	112	54	125	139

る。今後は、エビデンスを持って看護職の役割や指定規則の改定提言へと動きだすことが推測される。

本学は、開学時から先駆的なカリキュラムの構築を行ってきた。四年制大学への移行は、やや出遅れた感はあるものの、大学院の開学も順調に行われ、大学としての形を整えてきた。人口約3万人の小さな自治体に設立された大学が、現在まで生き残り、発展してきたことは、地域住民の支援の力によるところが大きい。地域住民の期待に応え、地方の山間地域だからこそできる看護基礎教育を模索しつつ、今後も質の高い看護専門職を育て、地域に愛される大学であり続けることを期待したい。

謝辞

最後に、大学開学時に着任し大学の発展を見てきた者として、36年間の振り返りは感慨深く、時間の流れの速さを実感しました。教育目的・目標の達成は多くの方々の協力無くしてはできませんでした。実習等でお世話になった地域の方々、実習施設の関係者の皆様、学生たち

のケアに快く同意して下さった患者さんやご家族の方々、看護学部の教育に努力を惜しまなかった教員と支えていただいた職員の皆様、そして何より、本学を選択して入学し、卒業後に社会で活躍している学生の皆さんに、心から感謝を申し上げます。

文献

- 1) 杉森みどり・舟島なをみ:看護教育学 第5版増補版. 医学書院, 2014.
- 2) 岡山県看護教育施設代表者会:岡山県看護教育のあゆみ 45周年記念誌. 2000.
- 3) 新見公立短期大学:飛翔 創立二十周年記念誌. 2000.
- 4) 新見公立短期大学:創立30周年記念誌. 2010.
- 5) 新見公立大学:学生便覧. 2010.
- 6) 新見公立大学:学生便覧. 2012.
- 7) 新見公立大学:学生便覧. 2015.

資料8 2015年現在

授業科目	単位数		看護師 卒業要件 単位数	保健師 卒業要件 単位数	授業科目	単位数		看護師 卒業要件 単位数	保健師 卒業要件 単位数
	必修	選択				必修	選択		
人間と文化	基礎ゼミナール	1			基礎看護学概論	2			
	保健	2			健康生活援助技術論	2			
	文	2			健康生活援助技術論	2			
	理	2			健康看護援助技術論	2			
	英	2			看護過程論	2			
社会	日本語重要法	2			基礎看護学実習Ⅰ	1			
	社会	2			基礎看護学実習Ⅱ	2			
	心理	2			成人看護学概論	2			
	教育	2			成人看護学援助論A (急性期)	2			
情報と	自然科学Ⅰ	2	必修科目 12単位	必修科目 12単位	成人看護学援助論B (慢性期・終末期)	2			
自然と	自然科学Ⅱ	2	選択科目 8単位以上	選択科目 8単位以上	成人看護学援助論C (ラボアフォーメーション期・産後)	1			
環境	情報処理	1			成人看護学実習A (急性期)	4			
人間と	英語Ⅰ	1			成人看護学実習B (慢性期)	4			
言語	英語Ⅱ	1			老年看護学概論	2			
	英会話Ⅰ	1			老年看護学援助論	2			
	英会話Ⅱ	1			老年看護学実習	2			
	英語論文読解入門	1			生活支援看護学実習	2			
	国際交流活動	1			在宅看護論	2			
体育	スポーツ実習A	1			在宅看護援助論	2			
	スポーツ実習B	1			在宅看護実習	2			
	計	12	23	20	精神看護学概論	2			
基礎分野	医療概論	1			精神看護学実習	2			
	生命論	2			急性看護学概論	2			
	保健医療統計Ⅰ(基礎)	1			急性看護学援助論	2			
	保健医療統計Ⅱ(応用)	1			慢性看護学実習	2			
	社会福祉	1			慢性看護学援助論	2			
	保健医療福祉法制	1			慢性看護学実習	2			
	保健医療福祉行政論	2			小児看護学概論	2			
	人間関係論	1			小児看護学援助論	2			
	カウンセリング	1			小児看護学実習	2			
	国際保健論	1			看護管理	2			
	ポララテニア論	1			医療安全	1			
	地域ポララテニア活動	1			救命救急医療特論	2			
	計	12	23	20	健康危機管理特論	1			
専門基礎分野	人体構造学	2			地域医療特論	1			
	人体機能学	2			看護生涯教育特論	1			
	生命活動と代謝	1			臨床コミュニケーション特論	1			
	微生物学	2			継続看護論	1			
	基礎病理学Ⅰ(総論)	1			臨床援助技術演習	1			
	基礎病理学Ⅱ(各論)	1			インタベンション実習	1			
	薬と健康	1			卒業研究Ⅰ(基礎編)	1			
	医療情報	1			卒業研究Ⅱ(実践編)	3			
	病態治療学A (脳・神経・運動器・救急看護)	1			公衆衛生看護学概論	1			
	病態治療学B	1			公衆衛生看護管理論	1			
	病態治療学C (呼吸器・血液・循環器)	1			地域ケアシステム論	1			
	病態治療学D (腎・泌尿器・内分泌・代謝)	1			公衆衛生看護学特論	1			
	女性の健康と疾患	1			健康教育学論	1			
	小児の健康と疾患	1			地域保健指導論	1			
	心の健康と疾患	1			地域保健指導特論	1			
	薬と疾患	1			産業保健	1			
	臨床実習学	1			学校保健	1			
	疫学	2			公衆衛生看護学実習	4			
	疫学講義・疫学演習	1			家庭訪問実習	1			
	地域リハビリテーション論	1			計	69	23	72	86
	運動指導論	1			合計	112	54	125	139
	計	31	8	33					